

令和元年東日本台風（台風第 19 号）に伴い発生した 農林水産業関係の被害状況とその対応について

1 被害状況

(1) 農作物関係

	被害面積 (ha)	被害額 (千円)
水稻	30.0	3,124
大豆	924.9	168,215
野菜	64.4	138,231
その他	46.2	1,540
計	1,065.5	311,110

(2) 畜産関係

	被害数 (羽)	被害額 (千円)
養鶏	23,093	5,778

(3) 農地・農業用施設関係

	箇所数	被害額 (千円)	主な被害状況
農地	122	225,480	畦畔破損、法面崩落、土砂等流入
農業用施設	311	1,101,865	排水機場冠水、ため池堤体崩壊、堰破損
計	433	1,327,345	

(4) その他農業生産施設等関係

ビニールハウス等一部破損 34 棟、農業用機械 12 台

(5) 林業用施設関係

	箇所数	被害額 (千円)	主な被害状況
市内林道	53	46,500	法面破損、土砂等流入
その他	6	5,000	市有林土砂流出
計	59	51,500	

(6) 水産業関係

さけ養殖ふ化場の浸水被害等

2 対応状況

(1) 補正予算等の措置

① 農業用施設等の復旧及び流出稲わら除去に要する経費

- ・ 令和元年度当初予算予備費より 300,000 千円を農林施設災害復旧費に流用
- ・ 令和元年 11 月専決処分補正において農林施設災害復旧費 1,183,800 千円を措置

② 営農再開に向けた支援に要する経費

- ・ 令和 2 年第 1 回定例会において次期作付種子等購入費補助金 43,200 千円の補正予算措置

(2) 現状及び今後の見通し（令和2年3月時点）

①農業用施設等の復旧について

被災 433 箇所中、422 箇所は工事着手済。本年春の営農に向けて必要な修繕等を完了する予定。引き続き、完全な復旧及び被害防止のための機能強化に向け継続的な整備を実施。残る 11 箇所については、令和2年秋以降の着手となり、一部転作等の対応を依頼する可能性があるが、用水の供給が難しい場所は供給ポンプ等により対応予定。

②流出稲わら除去について

道路・水路に流出した稲わら約 600 t については、3 月中に清掃工場への搬入及び焼却処分完了予定。

農地に流出した稲わらについては、稲わら撤去が必要となるほ場の全体面積 785ha のうち、農業者自ら収集する面積が 532ha、仙台市が収集する面積が 253ha。

農業者による収集は概ね完了しており、仙台市収集分も建設業者への業務委託により 3 月中に完了予定。

③営農再開に向けた支援について

種用大豆種子並びに園芸作物等の次期作付種子及び資材等の購入費に対する補助（補助率：県 1 / 3、市 1 / 3）の申し込みを受け付け、宮城県に申請中。